

3 安心して子どもを産み、 健やかに育てることができるようにします

めざしたい将来像

地域ぐるみで子育てを支援し様々なサービスが選択できるようにすることによって、子育てしやすく、子どもの笑顔があふれる街まつどを実現します。

めざそう値

	実績値		現状値	めざそう値
	13年度	19年度	21年度	32年度
子育ての満足度	89.8%	90.5%	89.6%	90%
就労希望はあるが保育サービスが利用できないため就労していない人の割合	—	—	6.7%	5%
合計特殊出生率	1.28 (13年)	1.20 (19年)	1.29 (20年)	1.33

市民と行政それぞれの役割

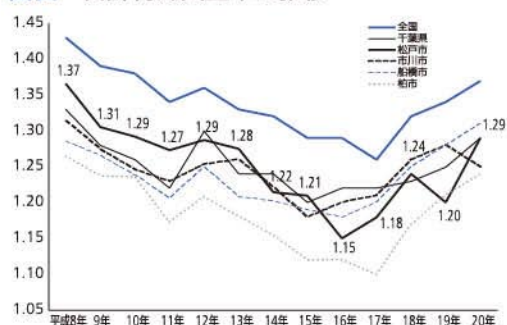
●市民の役割

- 親は、子どもに愛情を持って大切に生み育てます。
- 親は、地域の活動に参加し子育てを互いに支えあうようにします。
- 家族は、協力して子育てをすることにより、自分の時間を持ち、子育てを楽しめるようにします。
- 地域の人は、子どもの豊かな成長のために、子どもの安全の見守りなど自分のできる範囲で、子どもの健やかな成長を応援します。

●行政の役割

- すべての子どもが自分らしい夢を持てるようになるために、市民と一緒にサポートします。
- 親が子どものために家庭と仕事の両立ができる環境を整えます。
- 子どもとのふれあいを通じて多様な人々がつながるネットワークができるよう支援します。
- 子どももお年寄りも多世代で交流できるよう支援します。
- 子育て情報をわかりやすく積極的に発信します。

図表 合計特殊出生率の推移



出典：千葉県健康福祉指導課資料



おやこ DE 広場

4 市立病院として高度で良質な医療を提供します

めざしたい将来像

松戸市立病院は、東葛北部地域の中核病院として高度で良質な医療を提供するとともに、地域の病院・診療所・福祉施設、福祉サービス、NPO・ボランティア及び行政と連携、協力し合い、患者さんのより早い社会復帰・在宅復帰を実現します。

めざそう値

	実績値		現状値	めざそう値
	13年度	19年度	21年度	32年度
患者満足度	—	—	58.2%	60%台
平均在院日数	18.3日	14.6日	13.7日	11.5日
紹介・逆紹介率	—	—	紹介 47.7% 逆紹介 30.3%	紹介 60% 逆紹介 30%
一般病床利用率	88.9%	81.1%	80.7%	90%
年間手術件数	5,167件	4,552件	4,319件	4,550件
経常収支比率	101.6%	98.6%	100.5%	100%

市民と行政それぞれの役割

●市民の役割

- 地域でかかりつけ医を持つようにし、市立病院とかかりつけ医の役割の違いを理解するようにします。
- 入院中の患者さんの補助(一時保育、送迎)や、病院環境の改善に関わるボランティアなどにできる範囲で協力するようにします。

●行政の役割

- 「中核病院の目的・役割・機能」と「かかりつけ医を持つことの重要性」を市民に理解していただくため、必要な情報を提供します。
- 患者やその家族の状況に合わせた退院後の暮らしを提示し、地域の医療機関・福祉施設・福祉サービス・行政等との効果的なネットワークのもと患者の早期の社会復帰や在宅復帰をめざします。
- 高度で良質な医療の提供に必要な人材と資金を確保し、安定した病院経営を実現します。
- 患者サービスの向上に取り組むNPO/ボランティア等の市民活動と協働します。

第3節—— 次代を育む文化・教育環境の創造

① 子どもたちが自らの将来の目標を持ち、その実現に必要な知識や経験を得られるようにします

めざしたい将来像

子どもたちの社会での自立のために、家庭、学校、地域の連携のもと、地域の人々の力を活かし、地域を体験の場とするなどして、他人を思いやれる人間として成長できる真の生きる力を引き出す教育を実現します。

めざそう値

	実績値		現状値	めざそう値
	13年度	19年度	21年度	32年度
目標をもって学校生活をしている児童生徒の割合	60.4%	69.9%	73.7%	75%
授業が楽しいと感じている児童生徒の割合	—	54.7%	59.3%	65%
学校での「心の豊かさ」を育む体験活動の実施回数	—	—	1,887回	2,000回

市民と行政それぞれの役割

●市民の役割

- 家庭は、自分の子どもの教育に責任をもつとともに、学校や地域との接点を増やし、自分の家庭以外の子ども達の育ちにも関心を持つようにします。
- 市民一人ひとりが、できる範囲で、自分達の持つ種々の技術・能力を出し合って、学校の活動に協力するようにします。
- 市民一人ひとりが、子どもたちと共に活動する機会を増やすとともに、子ども達にとって将来の目標となる大人になるように努力します。

●行政の役割

- 子どもたちの自立を支援するために、効果的な教育活動を展開できる学校をめざします。
- 子どもたちが、自発的に学習することができる、図書館など教育環境を整備します。
- 学校と地域が協力して、特色ある体験型の学習を展開していきます。
- 学校は、保護者や地域と交流機会を増やし、課題を共有化し、一緒になって子どもの問題に対応できるようにします。



2

生涯学習やスポーツを楽しむことができるようにします

めざしたい将来像

生涯を通じて学んだり、スポーツをする楽しさを味わい続けられるように、自主的に参加しやすい場所や機会を増やすことで、年齢に関わらず心身ともにいきいきと暮らせるまちを実現します。

めざそう値

	実績値		現状値	めざそう値
	13年度	19年度	21年度	32年度
学習活動を行っている市民の割合	44.4%	42.2%	39.8%	50%
学習活動の成果を地域社会で活かしている市民の割合	69.4%	66.9%	66.1%	75%
目的をもって部活動をしている児童生徒の割合	—	68.2%	77.6%	90%
スポーツを行なっている市民の割合	33.4%	36.0%	35.9%	50%

市民と行政それぞれの役割

●市民の役割

- 市民一人ひとりは、生涯を通じて学んだり、スポーツをする楽しさを探求し続けます
- 受け身の姿勢で学習するのではなく、自らの学習機会を求めるとともにします。
- 自分たちで、積極的に学び合える場づくりの企画をするようにします。

●行政の役割

- 市民の自主性・自発性・独創性を尊重した学習活動を支援していきます。
- 公共施設の機能を最大限発揮できるようにします。
- 市民が講座や催し物等に参加しやすいように、幅広く、情報提供するようにします。



矢切公民館(総合福祉会館)



3 国際的な広い視野と平和を愛する心が育まれ、松戸の歴史や文化・伝統が保持され、後世に伝えられるようにします

めざしたい将来像

平和を大切にし、松戸を愛する人を増やすため、日本人も外国人も皆が松戸の歴史や文化・伝統が身近に感じられる工夫をこらして、誰もが誇りのもてる“ふるさと松戸”を実現します。

めざそう値

	実績値		現状値	めざそう値
	13年度	19年度	21年度	32年度
史跡や神社、仏閣など歴史・伝統文化遺産の満足度	20.5%	18.0%	18.2%	20%
文化・芸術に親しむ市民の割合	46.8%	44.2%	48.4%	50%
外国籍市民と交流している人の割合	3.6%	3.0%	3.3%	5%
外国人市民で暮らしに満足している割合	56.0%	82.7%	82.7%	85%
世界平和都市宣言の認知度	53.9%	54.7%	52.7%	60%

市民と行政それぞれの役割

●市民の役割

- 松戸の文化伝統を伝えるお祭りやイベントに、自分のできる範囲で協力します。
- 市内の見学コースをつくり、松戸をガイドすることで松戸の良さを伝えるようにします。
- 松戸の歴史や文化・伝統を学び、子どもたちに伝える努力をします。

●行政の役割

- 松戸の文化伝統を伝えるお祭りやイベントを実行する人を支援します。
- 松戸のガイドができる人を育成します。
- 松戸の文化伝統を伝えられる人を表彰するなどします。
- 市職員自らが、松戸をより深く知り、市内の案内役になれるようにします。
- 文化・芸術に親しめる環境をつくります。



戸定邸

第4節——安全で快適な生活環境の実現

1 災害に対する不安を減らすようにします

めざしたい将来像

市民一人ひとりの防災意識を高め、自助・共助・公助の災害発生時の対応体制を確立し、災害に強く命を大切にできる社会を実現します。

めざそう値

	実績値		現状値	めざそう値
	13年度	19年度	21年度	32年度
災害に対して自ら対策を講じている人の割合	61.7%	69.0%	70.3%	80%
総合防災訓練への対象団体の参加率	—	—	81% (47/58 団体) (19年度)	100%
自主防災組織の訓練実施率	31.7%	—	51.0% (19年度)	64%
自主防災組織の結成率	—	—	87.32%	100%

市民と行政それぞれの役割

●市民の役割

- 災害発生から3日間程度は困らないような災害物資の備蓄をするようにします。
- 家族の間で、避難場所を確認し、171伝言板の連絡方法を確立しておくようにします。
- 地域の防災訓練に参加し、防災意識を高めるようにします。
- 町会・自治会でも、実践的な訓練をして、経験を蓄積するようにします。
- ライフラインに関係する会社は、ライフラインの早期復旧に努めます。

●行政の役割

- 市民の災害物資の備蓄状況にあわせ、備蓄機材、備蓄食料を点検・見直しします。
- 災害での影響を最小限に留めるため、日ごろから防災情報を発信し、市民と情報を共有するよう努めます。
- 非常事態に備えて、地域防災計画に則った準備をします。

2 火災等の災害から市民生活を守ります

めざしたい将来像

市民一人ひとりが火災を発生させないようにするとともに、地域と行政で連携して、火災等による被害が少ない安全・安心なまちを実現します。

めざそう値

	実績値		現状値	めざそう値
	13年度	19年度	21年度	32年度
出火率（火災件数 / 対人口1万人）	3.7 (13年)	2.6 (19年)	2.4 (21年)	2.4 (32年)
住宅用火災警報器の設置率	—	—	59.2%	90%

市民と行政それぞれの役割

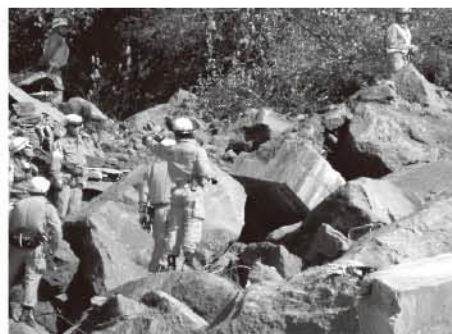
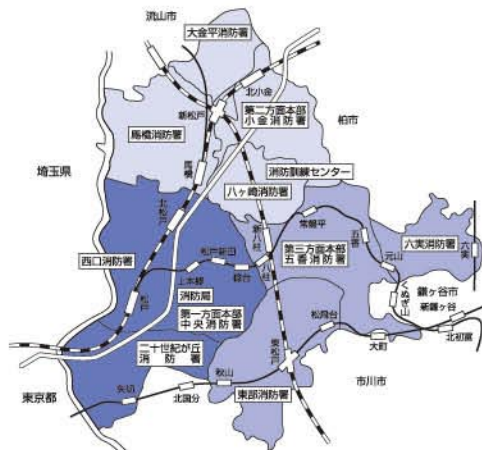
●市民の役割

- 各家庭で、住宅用火災警報器や必要な消火設備(消火器等)を備えるようにします。
- 各家庭で、火災を発生させないように努めるとともに、近隣で火災が発生したときには、できる範囲で避難や消火に協力するようにします。
- 地域の消防訓練に参加するようにします。

●行政の役割

- 消防施設・設備の整備、人員の適正管理を行い、必要な消防力を確保します。
- 消防団員や地域で防火防災に協力する事業所を確保します。
- 特殊災害等に関する専門家の把握をして、いざという時に備えます。
- 住民に対して、火災予防の啓発を行い、住宅用火災警報器の設置等情報の提供を行います。

図表 松戸市の消防体制



平成16年新潟県中越地震、崖崩落による生き埋め現場で活動する緊急援助隊員(松戸市消防局特別救助隊員)

3

救急救命が必要になった市民の生命をつなぎます

めざしたい将来像

救急医療機関の受け入れ状況を的確に把握できるような救急医療システムを構築するとともに、居合わせた市民が応急手当をできるように知識・技能を向上させることで、緊急事態でもより多くの市民の生命を守ることができる安心安全なまちを実現します。

めざそう値

	実績値		現状値	めざそう値
	13年度	19年度	21年度	32年度
心肺停止傷病者の1ヶ月生存率（1ヶ月生存者数/心肺蘇生実施者数）	—	6.5 (19年)	6.1 (21年)	6.8 (32年)
救急入電から医療機関に収容するまでに要する時間	—	—	35.1分 (21年)	34.9分 (32年)

市民と行政それぞれの役割

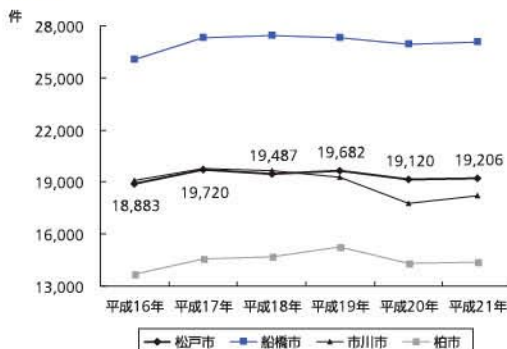
●市民の役割

- 救命講習や訓練に参加するなど応急手当の知識を養います。
- できる限り、かかりつけ医を持ち、健康に注意します。
- 地域の取り組む医療講習会等に参加して、医学知識を養います。

●行政の役割

- 救急病院との連携を強め、円滑な受け入れのための救急医療システムを構築します。
- 市民が安心できるよう、救急医療体制について情報提供します。
- 市民が参加しやすいように、救命講習や訓練を実施します。

図表 救急出場件数



消防救急車

4 環境にやさしい地域社会をつくります

めざしたい将来像

地球温暖化防止を推進するため、行政と市民が一体となって、日常生活における省エネルギーを加速させるとともに、新エネルギーの導入に努めて、低炭素社会の基盤を作り上げます。また、市民・事業者及び市が協働して、資源の浪費とごみの排出を可能な限り少なくし、徹底した環境保全に努める社会「資源循環型社会」の構築をめざします。

めざそう値

	実績値		現状値	めざそう値
	13年度	19年度	21年度	32年度
温室効果ガス削減量 (CO ₂ 換算)	—	—	(1,849,000t) 温室効果ガス総排出量 (CO ₂ 換算) (H18)	446,800t
廃棄物の最終処分量	20,847t	18,640t	18,270t	11,000t
二酸化窒素の環境基準達成率	75%	75%	75%	100%

市民と行政それぞれの役割

●市民の役割

- 地球温暖化の問題に関心を持ち、自主的に減CO₂に取り組みます。
- 家電製品等については、省エネルギー性能の高い製品に可能な限り切り替えるようにします。
- 太陽光発電など新エネルギー等の活用について、積極的に取り組みます。
- 消費者、地域住民として、自らがごみの排出者であることを認識し、資源循環型社会の構築に向け、ライフスタイルの見直しを行います。
- 環境に配慮した事業活動に向け、ごみ等の適正処理及び資源としての循環的利用を行っていきます。
- クリーンデーなど地域の美化活動に協力します。

●行政の役割

- 公共施設において、太陽光発電システム等の設置に努めます。
- 各家庭の太陽光発電システム等の設置を促進します。
- 地球温暖化の問題について、緑のカーテンの普及など市民への啓発活動を積極的に行います。
- 温室効果ガスの削減量などの数値目標を明確にし、市民・事業者に協力を求めます。
- 市民・事業者の自発的取り組みを支える様々な仕組みを整えます。

- ごみの発生抑制や再利用に関し、情報提供等を行うことにより市民・事業者の自主的な取り組みを促進します。
- 分別収集の推進や再生利用等によりごみの適正な循環的利用・適正処理に努めます。

5 犯罪や事故のない安全で快適な市民社会をつくります

めざしたい将来像

犯罪や事故、消費者トラブルのない安全・安心のまちづくりに向けて、市民一人ひとりの心がけと地域の見守り等を実施し、お互いに助け合える社会を実現します。

めざそう値

	実績値		現状値	めざそう値
	13年度	19年度	21年度	32年度
刑法犯認知件数（対1千人）	28.2件	16.4件	14.1件	13件
防犯用品貸与団体数	—	40団体	288団体	320団体
交通事故による死傷者数（対1千人）	6.5人	5.4人	4.5人	4人
交通事故の発生件数（対1千人）	5.3件	4.5件	3.9件	3.5件
消費者トラブルに巻き込まれた人の割合	11.4%	11.0%	9.0%	8%

市民と行政それぞれの役割

●市民の役割

- 市民一人ひとりが、防犯への意識を高め、自らのできる範囲で対策を講じるようにします。
- 犯罪や事故を防ぐため、地域の中で話し合いの場をできるだけ多くつくるようにします。
- 町会・自治会など地域で、防犯パトロールの体制をつくりあげます。
- 市民一人ひとりが、交通ルールを守り、事故の発生の防止に努めます。
- 市民一人ひとりが、悪質商法などの犯罪手口の情報に敏感になるなどして、消費者トラブルに巻き込まれないようにします。
- 市民一人ひとりが、消費者トラブルにあわない生活環境をめざし、自ら学習するとともに、市民同士、事業者、行政と連携するようにします。

●行政の役割

- 市民・地域、警察、行政などの警防ネットワークを強化します。
- 犯罪発生情報などを市民に提供し、防犯意識の向上を図ります。
- 青色回転灯装備車両などによるパトロール活動によって、日頃から犯罪が発生しないように、防犯活動を強化します。

- 街路灯の整備や防犯灯などの設置支援を行います。
- 犯罪が多発する地帯においては、防犯カメラの設置などを進めます。
- 市民が自ら消費者トラブルから身を守ることができるように、被害にあいやすい人が消費者教育を受けられる環境をつくれます。
- 市民が消費者トラブルに巻き込まれたときは、必要な助言・斡旋等を行います。
- 消費者団体、消費生活モニターとの連携を深め、市民と連携した施策を推進します。

6 緑と花に親しむことができるようにします

めざしたい将来像

生きものやみどりと共に暮らすために、みどりの市民力による協働を推進します。そして、人と自然を大切に思いやりの心を持ち、豊かで潤いのある生活ができるまちを実現します。

めざそう値

	実績値		現状値	めざそう値
	13年度	19年度	21年度	32年度
緑地・河川などの自然環境に満足している人の割合	21.1%	22.7%	19.4%	25%
里やまボランティア活動団体数	3団体	7団体	12団体	23団体
花いっぱい運動活動団体数	30団体	59団体	68団体	101団体
公園緑地活動団体数	—	129団体	145団体	180団体
身近で、緑が守られ、増えていると感じる人の割合	—	—	6.2%	18%

市民と行政それぞれの役割

●市民の役割

- みどりと暮らす豊かさをうたった「松戸みどりの市民憲章」を共有の理念として実践します。
- 市民一人ひとりが、家庭や地域の緑を守り育てます。
- 市民一人ひとりが、人と自然を大切に思いやりの心を持ち、生活します。
- 地域住民で仲間づくりをしながら、緑の保全や推進のボランティア活動や行政との連携といった「みどりの市民力」による協働を実践します。

●行政の役割

- 緑地の保全、公園緑地の整備、緑化の推進を法令整備や体制づくりも含め、計画的に推進します。
- みどりを守り育てるボランティアやNPO団体の活動を支援します。
- 市内の大学と連携し、緑の拠点づくりをすすめ、市民に対して、緑化推進の情報を発信していくようにします。

第5節—— 魅力ある都市空間の形成と産業の振興

1 地域産業を振興し、豊かな経済活動ができるようにします

めざしたい将来像

今ある資源を活かした、新しい松戸らしい地域産業を生み出すため、産・学・官・民の連携、世代間を超えた連携を継続して行うことによって、若者にも魅力ある松戸のまちを実現します。

めざそう値

	実績値		現状値	めざそう値
	13年度	19年度	21年度	32年度
快適・便利・賑わいがあると感じている人の割合	42.9%	37.7%	35.4%	50%
商業の年間商品販売額	80,376,473万円	76,488,304万円 (H19.6)	76,668,908万円 (H19)	80,000,000万円
製造品出荷額	46,795,923万円 (H12.12)	42,773,374万円 (H18.12)	47,370,740万円 (H20)	43,000,000万円
農用地利用権設定面積	—	1.54ha	3.55ha	1.8ha
松戸の良さを伝えるために取り組んでいる市民の割合	—	—	19.0%	30%
主要観光スポットの観光客数	3,175千人	2,627千人 (H19.12)	2,617千人	2,800千人

市民と行政それぞれの役割

●市民の役割

- 市民は、松戸の産業や農業に関心を持ち、市内での買い物や地産地消を心がけるようにします。
- 事業者は、周辺の事業者と連携をし、地域の活性化にも心を配るようにします。
- 市民は、市内の観光資源の保全や活用に協力するようにします。
- 農家は、農業が継続できるように努力します。

●行政の役割

- 起業したい人が起業しやすくするため、ノウハウや資金面など必要な支援を行います。
- 経営者が地域で経営を続けられるように、企業や大学、国、県等と連携をして、あらゆるバックアップができる体制をつくります。
- 矢切の渡しなどの観光資源を活かすなど松戸ブランドによるまちおこしができるように支援します。
- 農家が農業を続けられるように、地産地消を含めて、支援します。